

八峰町敬老式  
まだまだ元気です

9月15日、平成19年度の敬老式が峰栄館で開催されました。今年の対象者は、初養老124名、八十歳(傘寿)138名、八十八歳(米寿)70名の合計332人と金婚夫婦75組でした。式典では、神事のあと加藤町長が「これまで幾多の困難を乗り越えて、家庭や地域を支えてきた皆様が、その豊富な経験と知恵を発揮して、町づくりに参画してくださることは、極めて大きな力となります。」などとあいさつ。その後、各役養老、金婚夫婦の代表者に記念品が贈られました。  
式典終了後の余興では、峰神太鼓や東八森翔舞会、畑谷マドンナの踊りが披露され、参加者を楽しませました。



式典には121名が参加しました

県内の産直関係者が意見交換  
直売ネットワーキングin白神



活発な意見交換が行われました

9月10日、能代山本地区直売活動連絡会と山本地区振興局主催の「直売ネットワーキングin白神」がファガスを会場に開催されました。  
会場には、県内の直売所や加工グループの会員、農業起業家など約150人が集まり、「起業活動のスキルアップを図るためには」をテーマに基調講演やパネルディスカッションが行われ、活発に意見交換が行われました。  
参加者はこの後あきた白神体験センターに宿泊し、11日には、留山散策や町内の産直施設を視察して日程を終えました。

「休さん」記念講演  
岩子小学校体育館にて  
峰浜地区の児童201名が集まる

9月7日、岩子小学校と埴川小学校創立130周年記念と岩子小学校と水沢小学校の統合の記念講演会が岩子小学校の体育館で行われ、峰浜地区の児童201名と、先生や来賓、地域の方々が東京の劇団芸優座の演劇「休さん」を鑑賞しました。  
体育館のステージには本格的な舞台セットが生まれ、児童達は本物の役者の演技にすいこまれていました。  
創立130周年の記念と岩子小学校の閉校という節目に開催された講演は、児童達の思い出に残る素晴らしいものとなったようです。



役者さんと記念撮影(岩子小)

一揆で命を落とした霊を供養  
本館地区の伝統行事「たいまつ祭り」



幻想的な長い列が続きました

9月16日、本館地区の伝統行事「たいまつ祭り」が、本館城跡地で行われ、地域住民など約50名が参加しました。

このたいまつ祭りは、慶長10年(1605年)、領民の一揆により本館城が落城。その翌年から続いた飢饉や疫病が、城主や一揆に加わって命を落とした領民によるあたりではないかと恐れられた領民が、たいまつを掲げて霊を供養したのが始まり、と言われています。  
この日は、城跡で松源院の住職が経を読むなど供養祭を行ったあと、参加者一人ひとりがたいまつを手に集落へ向けて出発。山道には、幻想的な長い列が続きました。

まだまだ後援!  
第12回白神山景OB野球大会

9月9日、広域峰浜野球場と御所の台野球場で第12回白神山景OB野球大会が開催されました。この大会は、世界遺産白神山周辺周辺の野球チームの親睦とレベル向上を目指して毎年開催。町内外6チームが参加し、優勝を目指して白熱した試合が展開されました。



ホームベースでのクロスプレー

出場資格は満39歳以上で、中には50歳を超える選手も出場しましたが、熟年の技でヒットや好フィールディングを魅せていました。  
決勝戦は白滝倶楽部と峰夢RUNが対戦。熱戦の結果、峰夢RUNが優勝しました。

梨の収穫体験  
水沢小児童が秋の味覚を収穫



僕の梨が一番大きいよ!

9月21日、水沢小学校の1年生15名が梨園を訪れ、名物「みねはま梨」の収穫を体験しました。

この日訪れたのは笠原吉範さん(カッチキ台)の果樹園で、児童達は笠原さんから梨の採り方やおいしい梨の見分け方を教えてもらい、大きく実った幸水を選びながら収穫していました。

児童たちは「梨はどうして黄色くなるのですか」「一本の木に何個梨が出来るのですか」などとたくさん質問をして、峰浜の秋の味覚について学びました。最後は梨を試食し、美味しい体験授業となりました。

収穫の秋を体感しました  
岩館小学校で  
「稲刈り体験学習」

9月19日、岩館小学校で稲刈り体験学習が行われ、3、6年生が参加し黄金色に輝く稲を丁寧刈りに取り取っていました。

稲刈りを行ったのは小入川の川村清一さんが所有する田んぼで、通路沿いにあることから、子どもたちは毎日、通学のとときに稲の成長を観察し、待ちに待った収穫となりました。子どもたちは、手で一株一株刈り取り、杭がけに掛ける昔ながらの稲刈り作業を体験。額に汗を浮かべる姿も多く見られましたが、それでも楽しそうに笑顔で作業に取り組んでいました。



昔ながらの稲刈りを体験しました

きりたんぼ鍋を囲んで楽しみました  
観海小学校ナベッコ遠足



外で食べるきりたんぼ鍋は最高だね!

9月27日、滝ノ間海岸で観海小学校のナベッコ遠足が行われました。遠足では、まず釣りに挑戦。地域の「釣りの達人」に教えてもらいながら、小魚を釣り上げていました。その後はメインのきりたんぼ鍋づくり。班ごとに分かれ、鍋をつくり始めました。自分たちでつくった鍋の味は格別のように、「おいしくい」という声があちこちから聞こえてきました。  
腹ごしらえの後は海岸のクリーンアップを行い、楽しい遠足を終えました。